

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	商店街（代表者）	・SARSやイラク戦争の心理的影響は下火になってきており、長期の消費低迷で、消費者も我慢の限界にあるように思われる。商店街を中心に開催する夏のイベント等の開催効果により、消費マインドは徐々に高まると思う。
		スーパー（営業担当）	・売り場面積を増床したので、売上は増加する。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス時期に合わせ、新商品を6月、7月、8月と発売する計画であり、売上は増加する。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・最近の売上は、前年を下回っており、回復の見通しが立たない。
		百貨店（営業担当）	・商品や部門により、業績に好不調はあるが、前年を上回る商品が多くなってきている。特にブランド品は一部苦戦を強いられているものもあるが、相対的には好調である。
		スーパー（店長）	・景気が良くなる条件が見当たらない、しかもSARSの影響が日本に及んでくれば、これ以上に景気は悪化する。
		スーパー（企画担当）	・生活防衛型志向の購買動向が定着しており、この状況は変わらない。
		スーパー（財務担当）	・ゴールデンウィークは期待したほどの成果はなかったが、売上、来客数とも、昨年と比べると回復してきている。
		コンビニ（店長）	・ゴールデンウィークは、昨年より少し悪い状況であったが、1か月を総合的にみると例年と変わらない。売上、客の流れは、昨年と同じ傾向で推移しているため、今後も変化はない。
		コンビニ（代表者）	・好転の材料が見当たらず、消費者の手控えが見られる。また、競合店が出店予定であり、競争の激化が予想される。
		家電量販店（営業担当）	・販売量が増加しても商品単価が低く、売上が増加しないという厳しい状態が続いている。
		一般レストラン（経営者）	・半年間の月別売上を前年と比較すると、減少幅は小さくなっているものの、前年割れが続いており、3か月先も大きな変化はない。
		観光型旅館（経営者）	・SARS問題が解決するには、まだ3か月ぐらいはかかると感じており、旅行客や消費者マインドの冷え込みはしばらく続く。
		美容室（経営者）	・今月の売上の落ち込みに対して、チラシの配布、ダイレクトメール等の対策を行ったので、その成果が出る。
		住宅販売会社（従業員）	・計画中の客のプラン数や接触状況から判断すると、厳しい状況に大きな変化はない。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	・今年に入って、ずっと低調に推移しており、今後も需要が増加するとは思えない。
	やや悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・イラク戦争は終結したがSARS問題や北朝鮮の核問題、円高の問題、金融破たんの問題等、景気が良くなるきっかけが全く見つからない。
		百貨店（営業担当）	・賞与カットの問題もあるが、医療費3割負担になったことが、今後しばらくは悪影響を及ぼす。
		スーパー（店長）	・来客数は1.5ポイント上昇しているが、販売単価は1.5ポイント減少し、買上点数も昨年を下回っている。来店はされるが、商品は買わない、もしくはより安い商品を買っている傾向が見受けられる。
		家電量販店（店長）	・夏物商品の動向にもよるが、昨年のワールドカップのように需要を押し上げるイベントがないため、現在の状況から見て、良くなるとは思えない。
		都市型ホテル（経営者）	・個人、団体共に宿泊の予約状況が非常に悪い。レストランの売上は、安価なものは売れているが、利用人数が減少しており、ますます悪化する。
		旅行代理店（従業員）	・景気が悪い上に、SARSの影響も依然として残っており、旅行者にとっては非常に厳しい環境になっている。
		観光名所（経営者）	・SARSに感染した台湾人医師の問題で、予約のキャンセルが続出している。安全宣言は出たが、風評被害が続いており、徐々に回復していくと思うが時間はかかる。
		設計事務所（所長）	・低価格マンションの販売が増加している。
		設計事務所（職員）	・3か月先の工事受注量は、現在の工事受注量と比較して、大幅なアップが見込めないことから、やや悪くなる。

	悪くなる	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・例年、5月をピークに、6、7、8月と売上が減少するが、今年はそれに加え、価格の下落により、さらに売上が減少すると予想している。
		衣料品専門店〔婦人服〕 (経営者)	・来客数と単価ともに減少している。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	家具製造業(経営者)	・在庫調整の終了、季節要因による出荷量の若干の増加に加え、新商品及び新規顧客の獲得による実需の上乗せがあることから、やや良くなると思う。
	変わらない	一般機械器具製造業 (経理担当)	・排ガス規制に伴う受注は、あと1か月で落ち着くと思われるが、その後の景況に明るい兆しが無い。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・7月頃までは、外国向けDVD関係等の組み立ての受注があるが、今まで定例的に入っていた受注の先行きが見えない。
		広告代理店(経営者)	・デパートの夏物商戦では、一部高級ブランド品の中には、対前年比で20～30%の売上を伸ばしているものもあるが、総じて出足は鈍い。また、携帯電話の需要が止まり、それに合わせたように、上半期の広告予算も大幅に減少している。
公認会計士	・取引先の状況等を勘案すると、急激に消費が回復するとは考えられない。特に松山は、観光地としての特色が強い関係上、観光関係の需要の伸びが期待できないことから、急激な景気の回復は難しい。		
やや悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・円高の問題、SARSの問題は先行きが見えず、経済に大きな影響を与えてきており、今後の景気は悪くなる。	
	輸送業〔貸切観光バス〕 (経営者)	・SARSの影響も含めて、景気の悪化は、余暇産業分野にかなり悪影響を与えている。	
	金融業(融資担当)	・建設業では、受注が減少する夏場に、資金繰りに行き詰まる企業が増加する。	
	広告代理店(経営者)	・客の広告予算は依然として厳しく、大手企業は本社で一括発注する傾向になっている。	
悪くなる	食料品製造業(従業員)	・中国からの鶏肉関係の輸入再開の見通しが立っていないため、良くなることはない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社(支店長)	・派遣需要は、低調な状況が2、3か月は続くと思う。それに加えて、派遣料金の単価の引き下げ要請があり、すぐに好転するとは思われない。
		職業安定所(職員)	・新規求人は、サービス業で増加したが、製造業では依然厳しい状況が続いている。
	やや悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・支店統合、集約をする会社が数社あり、こうした状況からやや悪くなる。
		人材派遣会社(支店長)	・派遣から経費の安いパートへの切り換えが今後も続く。
		求人情報誌製作会社 (従業員)	・新たな事業展開や景気のいい話が全く聞かれなくなった。また、賞与カットの話も出ており、2、3か月後は、やや悪くなっている。
職業安定所(職員)	・パートを含む有効求人倍率は0.47倍と、4か月連続で減少している。新規求職者、有効求職者ともに増加しているが、不況によるリストラなどの離職者が対前年同月比で6割増加している。また、求人の減少傾向に歯止めがかからないことと、内容面でもパートや期限付き雇用が増大するなど、求人状況の悪化が顕著になっており、雇用環境はなお悪化する。		
悪くなる			